



No. 18

発行所 山形県手をつなぐ
社団法人 親の会事務局
山形市旅籠町
1丁目10番30号
山形県社会福祉会館内
TEL 山形 6572
印刷所 K.K. 誠文堂印刷所

待望の栄光園

竣工式を挙げる

風光明媚の地、米沢市万世町梓山

に建設された栄光園の竣工式が、快晴に恵まれた四月二十三日、午前十一時から現地において修祓式を挙行、板垣副知事をはじめ関係者多数で玉串奉奠を行なう。終わって米沢市米織会館において二百数十名の来賓参列のもと、盛大に落成披露式を挙行了しました。

落成披露式次第

一、開式のことば

月岡副会長

二、式辞

中村会長

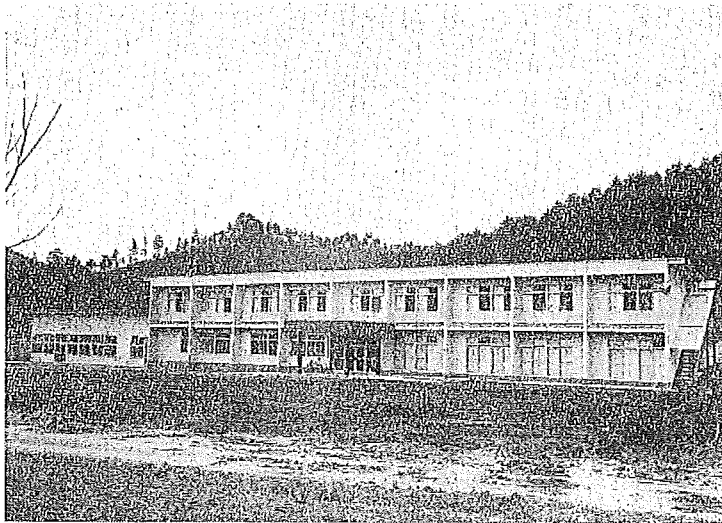
三、経過報告

山村栄光園建設委員長

四、感謝状贈呈

五、祝辞

1 山形県知事



六、園長あいさつ
七、閉式のことば

芦川園長
青木副会長

2 山形県議会議員 木村武雄氏
3 衆議院議員 759
4 米沢市長 173

栄光園

名称の由来

「栄光」とは聖書のなかに見られる神の栄光がこの子らの上にあるように「という一節から、入所者の前途に栄と光があるようにと祈り名づけました。

現在の規模

敷地 一三、〇七九㎡

収容棟(二階建て) 七五九

作業棟(平家建て) 一七三

施設整備費

1 主体工程 三八、五〇〇(千円)

2 水道工事 一、五〇〇

3 整地 一五〇

4 電気配線 一〇〇

総額 四〇、二五〇

収容定員

男子 三十五名

女子 十五名

授産科目

養鶏、養豚、農耕、製箱、その他

単純な電器部品作業

特活

毎日をより明るくし、集団生活に適應させるとともに、豊かな情操を養うため、音楽、スポーツ、生け花その他能力に応じた学習を行う。

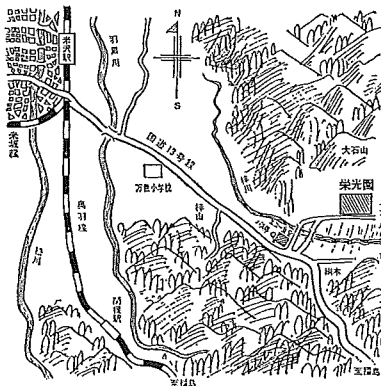
職員構成

園長、次長、指導員六名、保健婦

一名、事務員一名、炊事婦二名、内科嘱託医一名、精神科嘱託医一名 計十四名

環境

米沢駅から東に七軒、国道十三号線栗子ハイウエーから東北に市道七百米入る。人家はまばらだが、民情は極めて温和な里である。三方を山に囲まれ、春はワラビ、ゼンマイなどの山菜が、秋は松茸、しめじと天然の食料資源が豊富に産する。冬季をのぞいて山野は、常に野生の花が一面に咲き乱れ、のどかな小鳥のさえずりが収容者をこよなく慰さめてくれる。



深い感銘を与えた 中村会長の式辞

本日栄光園の落成式を挙げるに当り、県知事殿を始め多数の来賓各位の御臨席を得まして、誠に有難く且つ光栄に存じます。或る人の歌です。「すてられてなお咲く花のあわれさに、またとりあげて水あたえけり。」忘れられた子どもたち、知恵のおくれた子どもたちに、陽のあたる運動を続けて十数年、お蔭さまで本日、栄光園の落成をみましたことは、年来の宿望の一端を達し得たものとして、よろこびこれに過ぎるものはありません。

思えば三年前、手をつなぐ親たちのやむにやまれぬ要望から、民立民営によるこの施設の建設を決意いたしました。困難な事業であることも私共の微力はもとより覚悟の上ですが、なんとしても立ち上らずにはいられませんでした。時恰かも県下のPTA大会に於て、この施設建設のために百円募金を決議していただき三百余万円の浄財をおよせ下さいました。これがこの事業の突破口をつくってくれました。続いて、吉井屋商事皿谷社長から新聞でわれわれの計画を知って、「アデカ洗剤を三万個販売すれば、その広告宣伝費として二百万円をそっくり施設建設費

にまわすように製造元に交渉しよう」という申し出がありました。最初は見当もつかず、もとより自信はありませんでしたが、県下の婦人会の絶大な御協力によって見事に目標を突破し二百万円の資金を獲得することができました。これは金額もさることながら、私どもの志気は大いに鼓舞してくれる結果となりました。これらの資金によって、先ず敷地



を確保したわけですが、九千坪という広大な土地を極めて安い価格で譲っていただいた土地所有者の方々の御厚意を心から感謝いたします。この敷地決定が具体的に事業を推進するきっかけとなりました。その後の建設資金の造成については、関係各方面の非常な御協力を賜りました。就中自転車振興会の競輪益金の配分をいただく際にも、ほかに三〇四件申請が出されていたものを一、三〇

四万円栄光園建設費一本にしぼっていただきました。お譲りねがったこれらの申請者の温かい御理解に感銘しております。

また、県御当局も自分の仕事のようにして積極的に御指導をいただくことができました。特に民間施設に対する助成金としては前例がないといわれる一、三〇〇万円の多額の助成金をいただきましたことは感謝のほかはございません。更に市長会、町村会におかれては、むずかしい財政事情の中から、これまた異例の一、〇〇〇万円という助成金を頂戴することができました。ことに地元米沢市からは物心両面にわたる非常な御援助をいただきました。とりわけ米沢市の芦川先生並びに山村市会議員のお二方が全身全霊を打ち込んで強力に推進して下さいましたことは、最も大きい原動力となり成功の鍵はかかってお二方の力にあつたといっても過言ではありません。

これらのことを考えあわせますと、私共のか細い運動ですが、とにかく「灯を消すな」という合言葉の下に苦しみに耐えながら続けてきたこの運動に対する各方面の御理解のあらわれとして会員はじめ関係者一同に大きなよこびと自信を与えてくれました。ここにあらためて深甚の謝意を表します。また一般募金に当たっても多くの方々から数々の善

意をおよせいただきました。心からお礼を申し上げます。

ところで、この施設の名称を神の栄光が永久に子どもたちの上にありように、そして子どもたちの生涯に「栄光」と名付けました。この機会に栄光園に対する私共の考え方を申し述べさせて頂きます。東京教育大学の西谷博士の言葉をお借りすれば、精薄児の教育は社会の役に立つ人間を育てることではない。もしそうでないとするれば重度の子どもは教育の対象にならなくなる。必ずしも社会に役立たなくともよい。本人の生き甲斐をのばしてやることである。生き甲斐とは自分のもっている力を出して生きていくことである。知能指数五〇という所に線を引いて義務教育からさえ、子どもを締め出してしまっている、現在の教育方法に問題はないでしょうか。この子どもたちの生き甲斐をのばしてやる場所、それが栄光園であります。私共の最終の目標は、子どもたちが生き甲斐を感じながら生涯暮らしていける総合施設（コロニー）を夢にえがいております。親が健在なうちはとにかく、兄妹たちも面倒をみるといつてくれています。他人である嫁さんまで同じ認識にたつて貰えるかどうか。決して施設万能とは申しませんが、子どもたちの安住の場所をつくって

これまでのお礼と今後の御指導をお願いいたしまして式辞といたします。

昭和45年度事業計画

- 一、基本方針
 - イ、栄光園の設置、経営の充実をはかる。
 - ロ、組織の強化拡充をはかる。
 - ハ、理事会に部会を設け問題別に運営を促進する。
 - ニ、特殊教育の充実強化を促進する。

ホ、行政機関、その他関係機関、団体との緊密な連携のもとに相談事業の実をあげる。

へ、社会の理解と協力を求め、世論の喚起をはかるために啓蒙宣伝に努める。

二、事業

- 1 第一種 社会福祉事業
 - 栄光園の設置経営の充実をはかり、増築運動をさかんにする。
- 2 第二種 附帯的公益事業
 - イ、相談事業

やりたいと思います。先ずその最初の核として、働くことを重点目標とする授産施設をとりあげたわけであります。入所した子どもたちの能力や特性を見極めながら、それに合った職種を選んで、力一杯働くよるこびを与えていきたいと考えます。今回五十名の入所者を決定する場合にも、各福祉事務所からまわされてきた入所希望者だけでも一〇三名ありました。更に指数の低い重度の子どもたちは、この数倍はいるものと推定されます。実は十八才以上の重度の子どもたちこそ最も援護を必要とするにもかかわらず、手が行き届いておりません。第二期計画としては非この人たちのための授産施設をつくっていききたいと思ひます。更には通療寮の設置や家族寮を建設して、子どもたちの楽園をつくっていききたいと願っております。

今後私共関係者一同は子どもたちを素直に逞ましく育てるために、誠心誠意努力してまいります。何にいたしても、この種の施設は先例が乏しく幾多の困難な事態も予想されます。同時にこの種の施設が社会から孤立することのないように充分留意していかねばならないと考えています。何はともあれあらゆる障害を克服して立派な実を結ばせる覚悟であります。何卒、倍旧の御支援を願ってやみません。落成式にあたり、こ

どいをできるだけ多く開催し、指導法の相談親の会の理解を深める。

- ロ、助成事業
 - ① 特殊教育研究会、精薄施設職員研修会と連携をとり、特殊教育ならびに施設の充実をはかる。
 - ② 組織の強化のため各支部の活動充実をはかるとともに、未組織地区へ積極的に啓蒙する
 - ハ、啓蒙調査研究事業
 - ① 栄光園の設置、経営の充実をはかるため募金を完了する。
 - ② 東北ブロック大会を米沢市に九月十一日、十二日開催する。東北各県の代表が一堂に会し、熱意を傾けて、子どもたちのしあわせを高める第十回東北ブロック大会を米沢市に開催する。③

『愛のひとしずく運動』のお礼と今後のお願ひ

全国各県で実施しております「愛のひとしずく運動」(小・中・高校の児童生徒の使用する鉛筆販売)を社会福祉法人全日本精神薄弱者育成会の協力を得て昭和四十四年度に実施いたしました。児童文化協会本部からまいりました山形県分の計算書を紙上に掲載しご報告とともに厚く

社会福祉法人全日本精神薄弱者成会に理事評議員をおくり、全国的なつながりのもとに事業をすすめる。④各福祉事務所に配置されている精薄相談員と連携を密にし啓蒙につとめる。⑤会のPRと財政確立のため「愛のひとしずく運動」を六月に実施し、なお育友ピンチホルダー普及運動を四月から開始しその強化をはかる。⑥県親の会だよりを年四回発行し、会員相互の連絡をはかるとともに本会の趣旨が社会に浸透するよう努力する。⑦疵護、授産施設、職業補導施設精薄コロニ、など視察し実態調査する。⑧心身障害者扶養制度の普及をはかる。

お礼を申し上げます。

左記の表の通り皆様のご協力により山形県手をつなぐ親の会は、約六十五万の交付金をいただき活動資金にあてることができました。

昭和四十五年度も、県教委や市町村教委、校長会、県小中特殊教育研究会をとおして諸先生方のご協力を願ひする計画をたてております。

県内の各小中高校の校長先生をはじめ諸先生方、PTAの方々趣旨をご理解の上、一校ももれなくご協力下さるようお願いいたします。

自昭44. 9. 1 至昭44. 12. 22

『山形県心身障害者 扶養共済制度』

4月1日から発足

この制度は全国規模で行われるものです。ご検討の上少しでも不安を軽くするようにご加入をおすすめします。

・加入申込

心身障害児(者)を現に扶養して

私どもが永い間願っていたこの子らに対し「親なきあとの保障」の問題解決のいと口ができたことを皆様とともに喜びたいと存じます。

販布高		助成金		諸費用	
摘要	金額	摘要	金額	摘要	金額
小学校 155校	2,017,360円	造成金(育成金)	650,645円		
中学校 90校	518,870円	助成費(保護児童)	130,129円		
高校 18校	66,350円	加工費(ちえの友)	1,431,419円		
		印刷費	78,078円		
		分担金	330,129円		
		造送費	52,052円		
		普及費	39,039円		
		代受費	65,064円		
		事務費	13,012円		
		見本予備	5,205円		
		印刷費	7,808円		
		雑費			
合計	2,602,580円	合計	2,602,580円		

愛のひとしづく鉛筆計算書

いる保護者(年令は四十五才未満、発足当初は六十五才未満)所定の申込書を市町村役場へ提出し、知事の承認をうけて加入することができます。毎年度申込締切は、四月・七月・十月・二月の末日になっていきます。

掛金の額

加入者の毎年四月一日の年令により次の表のとおりです。

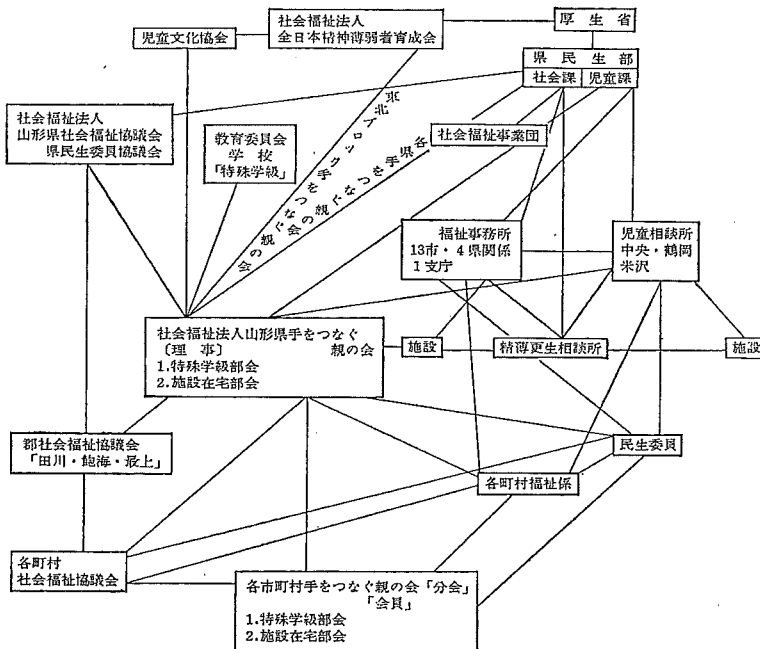
年令	金額(月額)
三十五才未満の者	一、〇〇〇円
三十五才以上 四十五才未満の者	一、三〇〇円
四十五才以上の者	一、五〇〇円

掛金納付の特典などもありますので、気がねすることなく是非各市町村の窓口で詳しく説明をお聞き下さい。

・年金の額

加入者が心身障害児(者)より先に死亡したり、廃疾になった場合には、その月から心身障害児(者)に対し、終生毎月二〇、〇〇〇円の年金が支給されます。その他の内容については各市町村役場へお問い合わせ下さい。

社会福祉法人山形県手をつなぐ親の会組織一覧



西村山地区支部寒河江市手をつなぐ親の会は、「親の声」第4集を発刊いたしました。

巻頭言の中に会長青木友夫氏(本会副会長)は、ご自分の尊い体験を通して語られ、個人ひとりでは微力であっても、よりよい世の中をつくる為に今後一そう団結を固め、協力しようではないかと訴えられております。文集の中に書かれている親たちは、学級での子どもたちの成長を喜び、感謝で満ちあふれています。義務教育が終ってからの不安についてはどなたも同じようです。この意味において、多くのかたがたの善意のお蔭でできた「栄光園」の今後の経営の充実と建設の増設の実現方を期待する大きなものがあります。